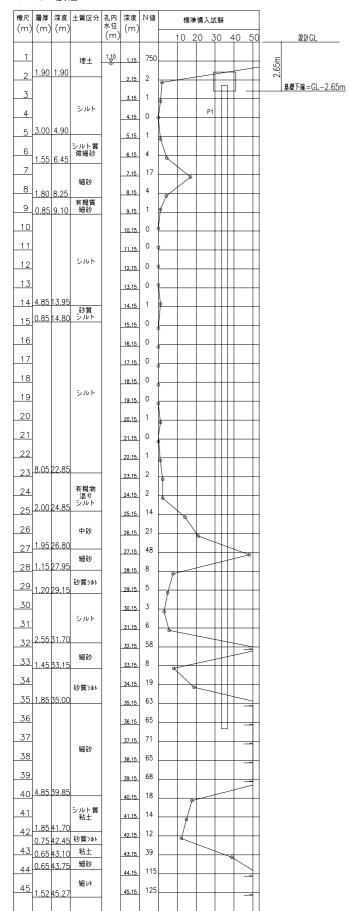
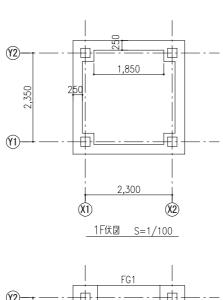


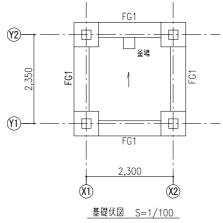
1 コンクリート の種類等	類別 ※ I 類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート)	14 無筋コンクリート	コンクリートの種類 ※普通コンクリート・ (6.14.1)		鉄骨部材への溶接方法 ・図示による ( )	21 溶融亜鉛めっき (基礎、主要構造部別		(7. 12. 4) (表
	・II 類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4)		セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は		耐火認定・あり(耐火時間・図示による( )・ )	びその他構造耐力」 主要な部分に限る。	- (D 7新日) - (M )	
	設計基準強度 気乾単位容積 スランプ 海田 毎 所		フライアッシュセメント A種 ・高炉セメント B種 G ・フライアッシュセメント B種 G	10 スタッド	・あり(耐火時間・図示による( )・ )       頭付きスタッド(JISB 1198)の種類等 (7.2.8)(7.7.6)		・B種         最小板厚3.2mm以上、6           ・C種         普通ポルト・ナット類	.Omr未満の形鋼、鋼板
	(N/m2) 質量 (t/m3) 2 2 3 2 2 3 2 2 3 2 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5		設計基準強度 ※18(W/mm 2) · スランプ ※15cm又は18cm · 適用箇所		呼び名         呼び長さ (mm)         適用箇所		外観検査 ※行う・行わない	. 2回[木/両リア形則、 剥(放 ]
			※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による( )		· 19 · 22	22 梁貫通孔の補強	補強形式 ・図示による (構造関係共通図(鋭	·骨標準図)1-6)
	- 構造体強度補正値(S) (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による	15 コンクリートの   単位水量測定	実施要領 (2)単位水量の測定は、150m3に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。	11 柱底均しモルタル	スタッド溶接完了後、外観試験及び打撃曲げ試験を行う。 無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 (7.2.9)		通用箇所 ※図示による ( )	
	※標準は作者 X0.5.2による 補正値S=3(月日~月日、月日~月日) S=6(月日~月日、月日~月日)		(3)単位水量の工機値は、保守は保备は、3.(4)(したるる。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m3	11 住成均しモルタル	※標準仕様書7.2.9(2)(7)から(1)による		※図水による ( )	•
セメント	種類 (6.3.1)		の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m3 の範囲にある場合は、水景変 動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示」、その運搬車の生コン	12 製作精度	鉄膏の製作精度は、JASS 6 付則6 鉄膏精度検査基準に加えて、次による。 (7.3.3) 通しダイヤフラムの突合せ総手の食い違いの寸法 ※HIT2建合第144号第二号イ(2)による			
2771	※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種		は打設する。その後、設計値±15kg/m3 以内で安定するまで、運搬車の3台年に 1回、単位水量の測定を行う。		アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による			
	適用値所(※下記以外全で <b>Φ 基礎</b> ) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和 熱が7日目で 352 0 / g 以下、かつ28日目で 402 J / g 以下のものとする。		3)設計値±20kg/m3を超える場合は、生コンを打込まずに守ち帰らせ、水量変動の 原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後 の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m3 以内であることを確認する。更に、設		食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合わせ幾手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による			
	・高炉セメント3種 図 適用箇所 (・1FLより下部 (立上り部含む) )		計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。	13 溶接技能者の	試験の要領 (7.6.3)			
	・フライアッシュセメントB種 G 適用箇所(・ ) .		(4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気 温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、ITメーウ法又は静電	技量付加試験	・図示による ( ) ・ 開先の形状 (7.6.4)			
骨材	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)		容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。		·図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2 溶接継手の種類別開先標準)			
混和材料	※A · B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m3 以下) ・ 渡和剤 (6.3.1)	7 1	鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3)		エンドタブの切除する部分 (7.6.7) 切断する場所 ・図示による ( )・			
	混和剤の種類 ※標準仕様者6.3.1(4)(a)による ・混和材	<u></u>	建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた (株) 日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧)社)全国銭構工業協会) の「鉄骨製作工場の性能評価基準」により評価を受け、国土交通大臣から認定を		切断範囲 ・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以上残して直線上に			
	- 注化が 混和材の種類 ※標準仕様害6.3.1(4)(b)による	<del>欽</del>   骨	の「飲育設作工場の注能計画基準」により計画を受け、国工交通人量から認定を 受けた工場、又は同等以上の能力のある工場 評価の区分		切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 切断面の仕上げ			
打継ぎの位置、 ひび割れ誘発目地、	打継ぎの位置 <b>梁及びスラブ</b> (6. 6. 4)	<u>工</u> 事	<ul><li>※( )グレード ・指定しない</li><li>・監督員の承諾する工場(標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)</li></ul>		· 標準仕様書7.6.7(1)(b)(b)②による 完全溶込み溶接			
打継ぎ目地	※スパンの中夬又は端から1/4の付近 ・図示による( ) ・	2 施工管理技術者	配置する (7.1.3、4)		板厚が異なる場合の突合せ継手 低応力高サイクル疲労を受ける部位			
	柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による()・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 鋼材	種類等     (7.2.1)       種類の記号     適用箇所(主要な部分)     規格		・図示による( )・ スカラップの形状			
	目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)		- JIS規格による		・図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-4(4)改良型スカラップ)			
	- 標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による()		・JIS規格による・ 溶接亜鉛めっき工法の適用箇所	15 入熱、パス間温度の 管理	<ul><li>・図示による()</li></ul>			
	ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1)		:	16 溶接部の試験	・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 H12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 (7.6.12)			
温潤養生	・図示による ( ) ・ 温潤養生の期間 (6.7.2)	4 高力ボルト	ボルトの種類 ・トルシア形高カボルト <b>⊙</b> JIS影高カボルト	10 冶技部の高級	Tit     10475第一でに関するが戦点収力法令			
コンクリートの	・セメントの種類が普通エコセメン、の場合 ( ) 日 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2)		・溶融亜鉛めっき高力ポルト ボルトのねじの呼び ・図示による ( ) ・		※抜き取り検査②			
仕上り	種別   適用簡所   A種   ※図示による( )		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)		JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準] の付表3 「溶接」に関する確認方法等 - JASS 6 10.4 [受入検査] e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、			
	- C種   ※図示による( )   - CE   CE   ※図示による( )   - CE		・図示による(構造関係共通図(鉄骨-標準図)1-1 縁端距離及びポルト間隔) ・		完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷は験の試験箇所と同一 とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.3.13による補修を行い、 再試験する。			
	コンクリートの仕上りの平たんさ		摩擦面の処理方法等 (7.4.2) (7.12.5) 溶融亜鉛めっき以外					
	・ a種     ※図示による()       ・ b種     ※図示による()		※標準仕様書7 4.2(1)による ・ 溶融亜鉛めつき面 ・ブラスト処理 (表面粗度50μm Rz以上)		完全溶込み溶接節の超音波探傷試験 - 工場溶接の場合 AOU.(%) ※4.0 - 2.5			
trii le t	・ C種		<ul><li>・ブラスト処理以外の特別な処理方法</li><li>・図示による()</li></ul>		節 検査水準			
打増し厚さ 打放し仕上げ部)	打増し厚さ (6.8.1) ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm		すべり試験 ・行う (※ www.compaction が で が で が で が で が で が で が で が で が で が		· 全數 · 工事現場涪接の場合			
	・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・外装タイル後張り面の打増し処理	5 普通ボルト	ボルト及びナットの材料 (7.2.3)(7.5.2) ・標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による	17 鯖止め塗装	※全数 ·			
	・ 20mm ・ 打増し範囲		ボルトの規格は JIS B 1180 とする。 (ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼と	17 期上の至表	耐火被覆材の接着する面・図示による(			
型枠	・図示による( ) ・ せき板の材料及び厚さ (6.8.2)		する。ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの 軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181 とする。ナットの種類は、六角ナット-Oとし、材料は調とする。)		耐火被覆材の接着する面以外 ※標準仕様書7.8.2(1)(7)~(i)以外の範囲 ・図示による( ) ・			
至什	・合板(※12mm · ) G コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用		ボルトのねじの呼び ・図示による ( ) ・		塗料の種別 (7.8.4)			
	する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ・図示による ( )		座金 ※ JIS B 1256 による . 戻り止め ※二重ナット · ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)		- 鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 - 標準仕様者 表18.3.1 A種			
	<ul><li>・MCR工法用シートの使用</li><li>適用箇所 ・図示による( ) ・</li></ul>		・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びポルト間隔)		屋内 - 標準仕様書 表18.3.1 ( ) 種 ・			
	打増し厚さ ・20mm ・ 打増し範囲 ・図示による ( ) ・ スリーブの材種・規格等	6 アンカーボルト	・構造用アンカーボルト(JIS B 1220) (7. 2. 4) (7. 10. 3) 種類 ・ ABR40) ・ ABR490 ・		- 亜鉛めっき調面の鯖止め塗料 - 標準仕様書 表18.3.2 ( ) 種 - 鉄骨鉄筋コンクリート造の調製又リーブの内面(鉄骨に高接されたものに限る)			
	・図示による ( ) ・ 存置期間及び取外し (6.8.4)		・ 建方用アンカーボルト (JIS G 3101) 種類 - SS400 - アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度		- 標準仕様書 表18.3.1 A種 - 耐火被覆材の接着する面へ塗装する場合の鯖止め塗料 - 標準仕様書 表18.3.1 ( ) 種 - 標準仕様書 表13.3.2 ( ) 種			
	※ 標準化模書6.8 4による ・普通エコセメントの場合(※図示による( ) ・ )		※標準仕様書 表7.2.3による・・					
<b>経量コンクリート</b>	適用箇所 (6.10.1、2) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による (精造関係共通図(鉄骨漂準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔)	18 耐火被覆	種類、材料、工法等 (7.9.2~8)   種類   材料・工法   性能(耐火時間) 適用箇所(部位・部分)   ・耐火材吹付け   乾式吹付ロッケール   ・乾式吹付ロッケール			
	種類   ・1種 ・2種	7 溶接材料	溶接材料 (7.2.5)		・耐火材吹付け 乾式吹付ロッヴ- b			
	気乾単位容積質量 - 標準仕様書 表6.10.1による - スランプ		- 標準仕様書7.2.5(1)、(2)による - 標準仕様書7.2.5(1)、(2)以外の溶接材料 材料及び使用簡所 図示による( )		<u> </u>			
寒中コンクリート	※21cm · 適用期間(月日~月日) (6.11.1、2)	8 ターンバックル	種類 (7.2.6) 建築用ターンパックル		カルシウム板			
≪ 中コンプラー	構造体強度補正値(S)を積算温度を基に定める場合 ・図示による()、S=()・		※羽子板ボルト · 建築用ターンパックル胴		- 耐火材巻付け <u>高断熱ロックウール</u> - ラス張りモル _			
暑中コンクリート	適用期間(月日~月日) 構造体強度補正値(S)		※割枠式 ねじの呼び ・ 図示による ( ) ・		タル塗り 一耐火塗料			
	※6N/mm2 ・ 図示による ( )、S= ( )・		材質、形状及び寸法 (7.2.7) (7.7.8)		材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする			
マスコンクリート	適用箇所 (6.13.1、2) ・図示による ( ・ セメントの種類	プレート	適用箇所 材質・形状・寸法 備 考	19 建方精度 20 アンカーボルト等の	※JASS6 付則6 [鉄骨精度検査基準] 付表5 [工事現場] による (7.10.2) 構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)		工事名	東鶯宮駅東口立体施設整備工事
	・普通ボルトランドセメント ・中庸熱ボルトランドセメント ・低熱ボルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント		<u>単独の構造</u> ・デッキブレートと コンクリートとの	設置	· 図示による ( ) ·		路線名	
	混和材料の適用   ・あり (・標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・標準仕様書6.13.2(2)(4)による   ・		- 一		構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・図示による ( ) ・		河川名	市道鷲宮76号線
	スランプ ※15cm 構造体態度補正値(S)				建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルトの保持及び埋込み工法(標準仕様書 表7.10.1) 種別 ・ A種 ・ B種		工事箇所	久喜市桜田1丁目地内
	構造体強度補止値(5) ※標準仕様書表6.13.1による・		開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む)		柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別(標準仕様書 表7.10.2) 厚さ		図面名	特記仕様書(構造関係・その
			· 図示による ( ) ·		種別 ※A種 ·B種		縮尺	S= 図示 図面番号 S

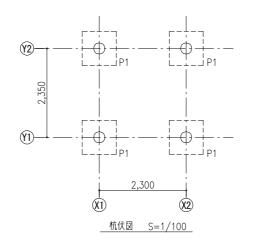
埼玉県 久喜市 都市整備課

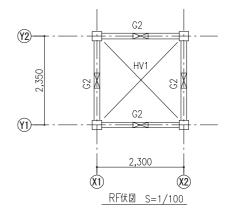
#### ボーリング柱状図

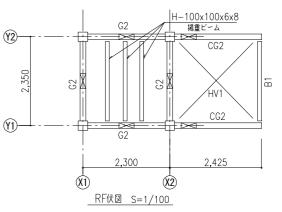


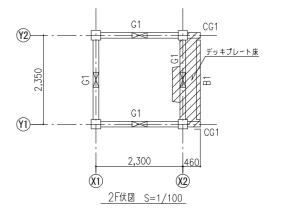


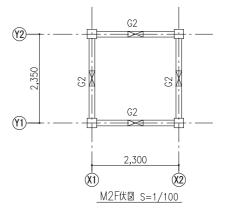








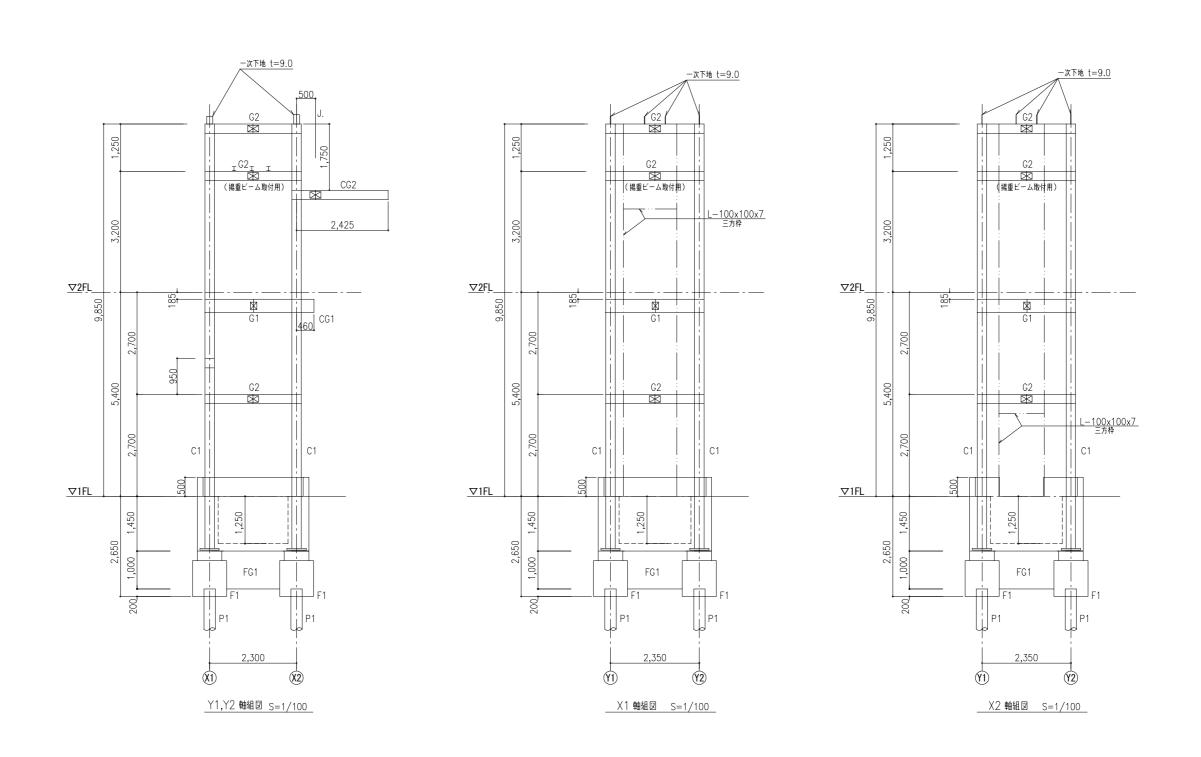




### 杭工事は別途とする

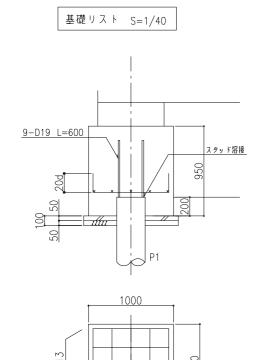
-								
I	事	名	東鷲宮	東鷲宮駅東口立体施設整備工事(建築)				
路線名 市道鷲宮76号線								
工事箇所			久喜市桜田1丁目地内					
図	面 名               伏図軸組図				]			
縮尺			S= [	図示	図面番号	S	_	11
	埼玉県 久喜市 都市整備課							

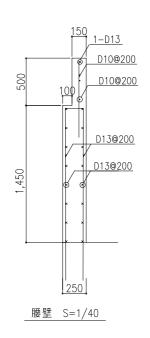
仕様	符号	杭長(m)	杭頭レベル(m)		上杭		中杭。下杭
11.1*	10.2	1/1.15 (1117	1ル頃バル(111)	杭長(m)	杭種	杭長(m)	杭種
杭種別 : 既成杭 工 法 : プレボーリング根固め 支持層 : 細砂	P1	34.0	GL-2.45m	7.0	PHC杭 C種 Ø400	9.0x3	PHC杭 A種 φ400
支持層 : 細砂							



## 杭工事は別途とする

工事	名	東鷲宮駅東口立体施設整備工事 (建築)				
路線河川	名名	市道鷲宮76号線				
工事包	所	久喜市桜田1丁目地内				
図面	名		軸組図			
縮	尺	S= 図示	図面番号	_S - 12_		
	埼玉県 久喜市 都市整備課					





#### 注記 基礎梁リスト S=1/40 1) 3/91-ト FC21 N/mm² 2) 鉄筋 SD295 (D16以下) SD345 (D19以上)

	05200 .5107.1. 0501.	
符号	FG1	
位 置	全断面	
断面	000,1	
上端 筋	5-D19	
下端 筋	5-D19	
スターラップ	□-D13@200	
腹 筋	4-D10	

### 基礎柱リスト S=1/40

符号	FC1
位 置	柱頭・柱脚
断面	650
主筋	12-D19
帯筋	□-D13@100
備考	

### スラブリスト

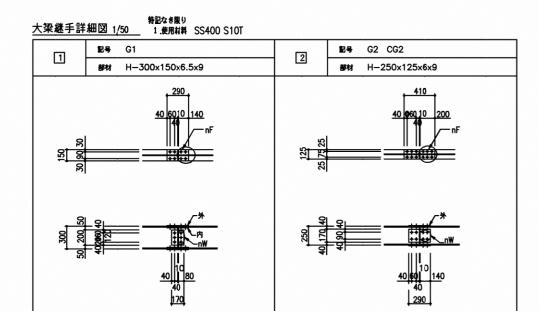
### 特記なき限り下記による

1.使用材料 鉄 筋 D10 ~ D16:SD295A

符号	版厚	位置	短 辺 (:	主 筋)	長 辺 (配	力 筋)	配筋 タイプ
符号	t	位置	端部	中央	端部	中 央	タイプ
FS1	250	上端筋	D13 @200	>	D13 @200	<b>──</b>	
[ [3]	230	下端筋	D13 @200	→ >	D13 @200	→	モチアミ

# 杭工事は別途とする

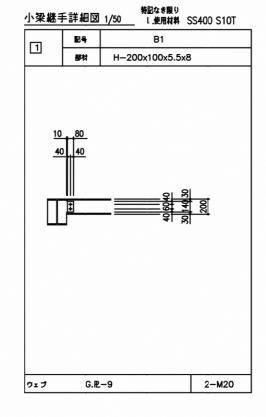
工事	名	東鷲宮駅東口立体施設整備工事 (建築)					
路線河川	名名	市	市道鷲宮76号線				
工事箇	所	久喜市桜田1丁目地内					
図面	名	基	礎部材リスト				
縮	尺	S= 図示 図面番号 S - 13					
埼玉県 久喜市 都市整備課							

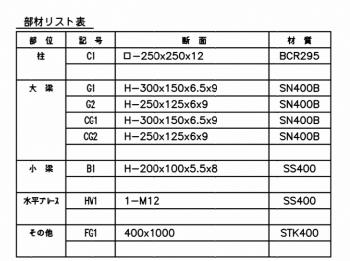


フランジ

ウェブ

nW 3-M16





<u>ブレース継手詳細図 1/50</u> 特記なき限り 1.使用材料 SS400 S10T

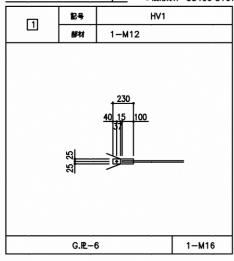
R-9x150x290

2R-9x60x290

2PL-6x200x170

フランジ

ウェブ



デッキ床 S=1/60

R-12x125x410

2PL-6x170x290



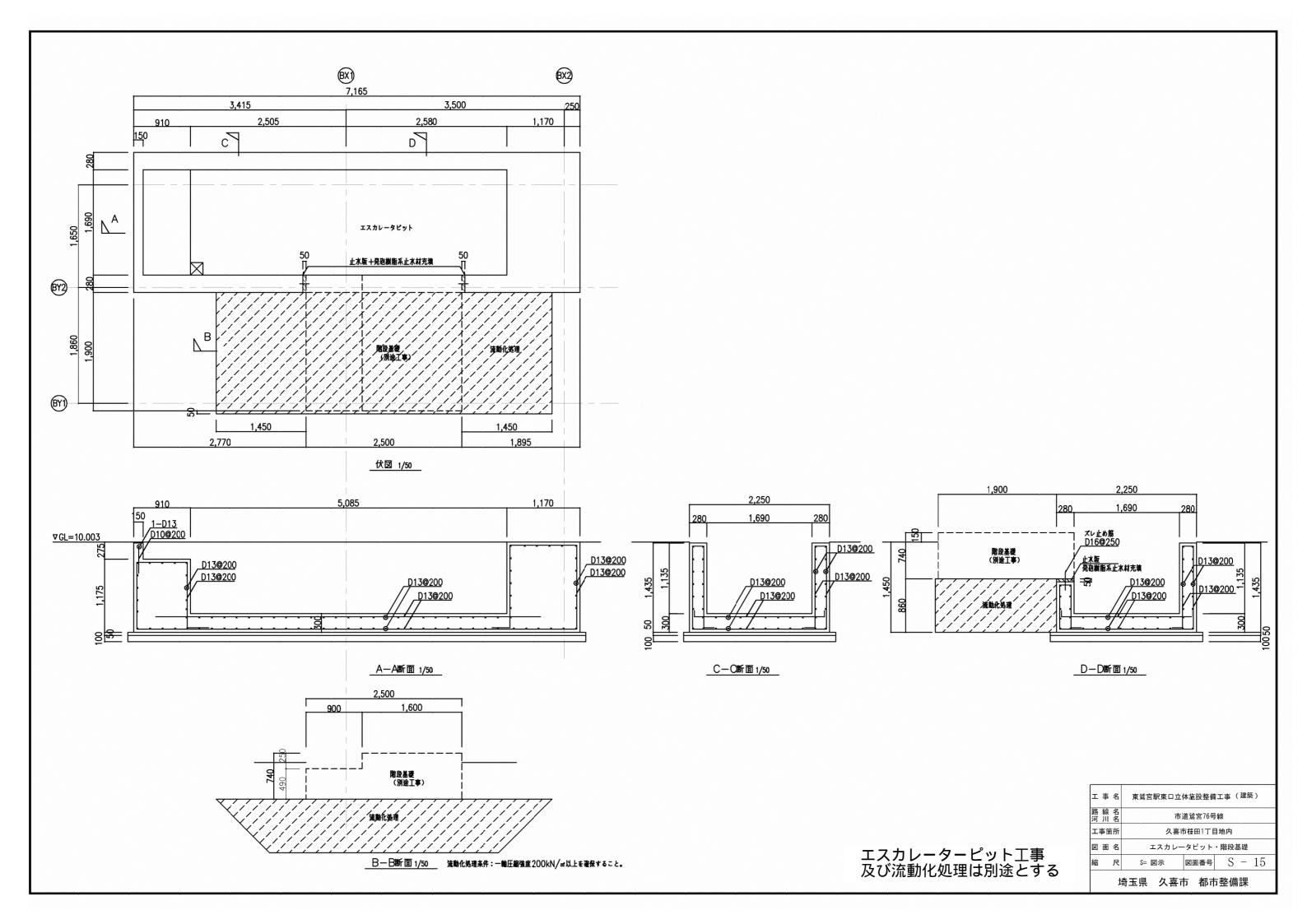
6-M16

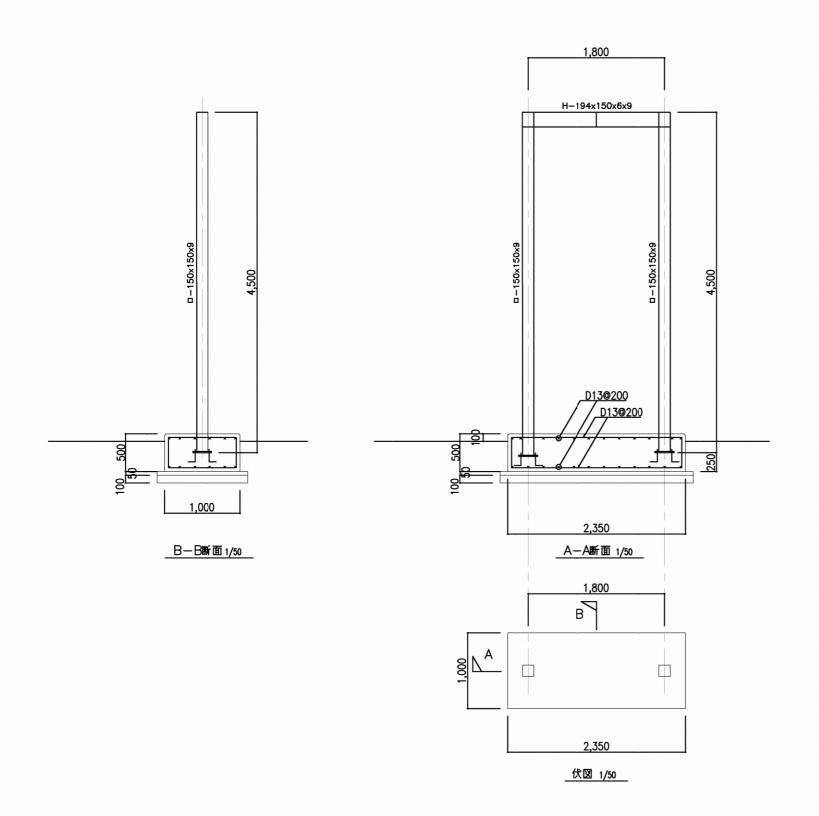
4-M16

ベスプレート詳細図 1/50

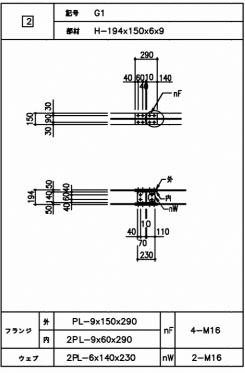
符号	C1
	50 8019080 50 09 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11
ベースブレート	ベースパック 25-16V
772-#AI	8-M33 (SD490)
リナナレート	
# 考	

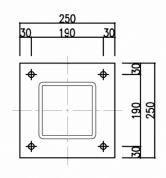
ェ	事	名	東鷲宮駅東口立体施設整備工事 (建築)					
路河	線川	名名	市	市道鷲宮76号線				
Ιį	事筐	所	久喜市桜田1丁目地内					
図	面	名	鉄	鉄骨部材リスト				
縮		尺	S= 図示	図面番号	_S -	-	14	
	埼玉県 久喜市 都市整備課							





大梁継手詳細図 1/50 特記なき限り 1.使用材料 SS400 S10T





B.PL-22 4-M-16 L=320

ベースプレート詳細面 1/10

I	事	名	東鶑宮駅東口立体施設整備工事(建築)				
路河	線川	名名	市道鷲宮76号線				
工事箇所			久喜市桜田1丁目地内				
図	面	名	エスカレータ落下防止フレーム				
縮		尺	S= 図示 図面番号 S - 16				
	埼玉県 久喜市 都市整備課						